

2026年3月



**東急不動産**



# 『地域共生型の再生可能エネルギー事業』

カーボンニュートラルとネイチャーポジティブの同時実現

～北海道石狩市厚田区での陸上風力発電事業における  
地域共生の取組み方針のご紹介資料～



# 1. 本事業の概要

## 事業概要

北海道石狩市厚田地区において、日本海側の風況を活かした陸上風力事業を計画しています。

### ▼事業概要（準備書時）

事業名	(仮称)北海道厚田風力発電事業
所在	北海道石狩市厚田区
面積	約443.9ha
風車基数	最大15基
単機出力	4,300kW
総発電規模	最大 64,500 kW
スケジュール	2027年4月 着工 2030年4月 運転開始予定

## 位置図



## 対象事業実施区域の環境

ゴルフ場のように見える箇所はパイロットファームの跡地（現況は荒地に近い）です。既に伐開された土地および既存林道の活用により、森林伐採や造成の少ない事業を計画しています。

### ▼パイロットファーム跡地の状況



### ▼パイロットファーム跡地の現地写真



### 【参考】事業計画地の土地の歴史：パイロットファーム（国営農地開発事業もうらい）

昭和44年度、未利用地の開発が地域住民より要求され、酪農による経営安定を図るため、国営による基幹事業整備計画の調査を開始しました。昭和45年度、地区面積1,015ha（造成面積679ha）で基本計画樹立の地域決定がなされ、昭和47年度に第1号幹線道路に着工しました。その後農地及び道路の造成を進め、計画変更も行いながら、昭和57年度にすべての工事を終了し、総事業費21.4億円で地区完了しました。

### ▼計画書



### ▼地区概要図（古潭漁港を中心に、図の右側が北）



### 工事計画の概要▼

道路（幹線）	5,083m
道路（支線）	21,821m
雑用水施設	41,188m
農地造成	526.2ha
暗渠排水	16.1ha

## 2. 本事業の目指すもの

### 『地域共生型の再生可能エネルギー事業』 ～カーボンニュートラルとネイチャーポジティブの同時実現～

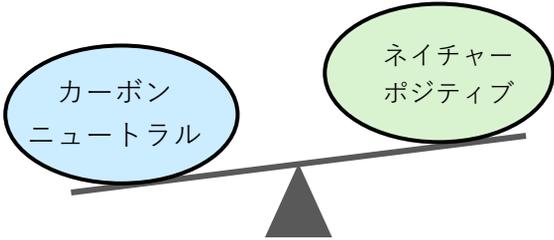
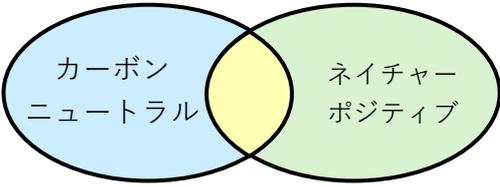
本事業は、厚田の豊かな自然資産を、地域の皆さまと共に育み、未来に繋ぐ取組みを通じて、地域の皆様とともに厚田の自然の恵みを楽しむ『地域共生型の再生可能エネルギー事業』を目指して参ります。

「第3次石狩市環境基本計画」に掲げられた5つの分野のうち、「生物多様性」、「脱炭素」及び「教育・パートナーシップ」の3つの分野から、石狩市の目指すまちの姿と環境像の実現に貢献し、カーボンニュートラルとネイチャーポジティブの両立という、新しい風力発電事業を検討・提案します。

#### ■「第3次 石狩市環境基本計画」に対する本事業の考え方

第3次 石狩市環境基本計画（令和3年3月）	本事業
【快適環境分野】 安心・安全	<b>『地域共生型の再生可能エネルギー事業』</b> ①地産地活電源化に向けた取組み  ②既に開発された土地の活用 ▼事業地の写真  ③生物多様性保全に向けた取組み ▼厚田学園で環境教育に関する授業実施 
【自然環境分野】 生物多様性 ・生物多様性の保全 ・自然との共生	
【生活環境分野】 資源循環	
【地球環境分野】 脱炭素 ・地球温暖化対策 ・再生可能エネルギーの地域利活用 ・地球環境保全	
【連携・協働分野】 教育・パートナーシップ ・環境教育の促進・環境意識の向上 ・様々な主体との連携・協働	

#### ■本事業と従来事業の考え方の違い

従来 of 風力事業	本事業
カarbon と ネイチャー ニュートラル と ポジティブ は <b>トレードオフ</b> の関係	カarbon と ネイチャー ニュートラル と ポジティブ の <b>両立</b> を目指す
	

# 3. カーボンニュートラルの実現に向けて

## 地産地活電源化に向けた取組み

当社は、石狩市が目指す再エネ100%産業団地の実現に向けて、石狩市内において再エネの「供給者⇄需要者」の両面から様々な取組みを進めています。

本事業においても、発電した電力の全量を石狩湾新港地域内（REゾーン）へ供給する計画を検討しています。発電所が立地する厚田エリアにおける地域共生の取り組みに加え、当社が石狩市内で推進する他事業と連携し、石狩市の皆様にとって価値のある事業となるよう取り組んで参ります。

### ▼模式図

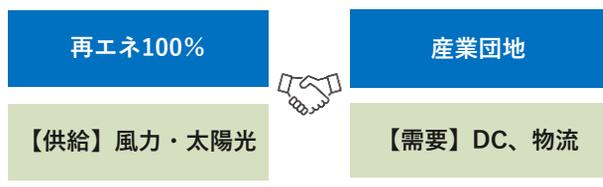


### ▼本事業とREゾーンの位置図



## ■石狩市と協力した取組み

当社は、石狩市と「再エネ・まちづくり協定書」を2024年に締結しました。石狩市の脱炭素先行地域及びゼロカーボンシティの実現とまちづくりの継続発展に向けて協業して参ります。



### ■再エネ・街づくり協定書 (2024年：石狩市)



(左)市長 (右)当社

### ■当社と石狩市の共同出資会社 設立 (2024年)



## ■石狩市内における当社事業

### 石狩再エネデータセンター第1号 (2026/3竣工)

再生可能エネルギー100%で運営するデータセンターを建設しています。



(イメージパース)



(現地写真：2025年11月)

### 北海道石狩第一・第二太陽光発電所 (2026/3竣工)

REゾーンでのオンサイト利用を前提とした太陽光発電所を建設しています。



(イメージパース)



(現地写真：2025年8月)

## 【参考①】石狩市の脱炭素戦略『再エネの地産地活・脱炭素で地域をリデザイン』

石狩湾新港地域においてデータセンター群及び周辺施設に再エネ電力の供給の実現により、更なる産業集積を目指す他、石狩庁舎周辺の公共施設群にマイクログリッドの構築等を行い、CO<sub>2</sub>排出実質ゼロと行政機能のレジリエンス実現に向けて取り組む。2030年度にゼロカーボンの実現を目指す。



▼先行地域位置図（出典：環境省）

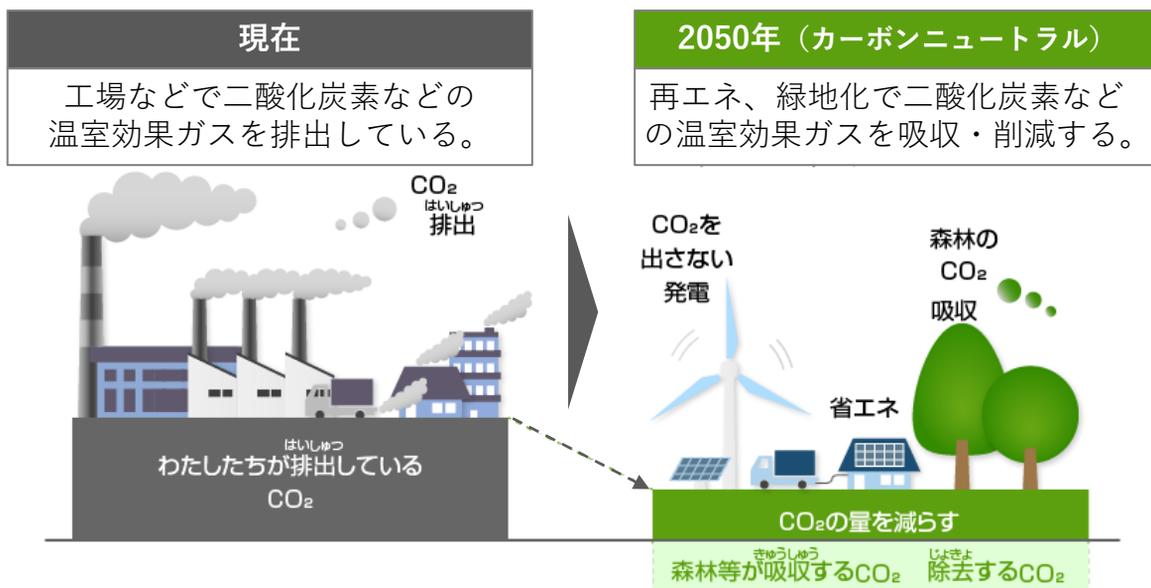


## 【参考②】カーボンニュートラルとは

カーボンニュートラルとは、人間の活動で排出する二酸化炭素（CO<sub>2</sub>などの温室効果ガス）を、吸収・除去する量と同じにして、実質的にゼロにすること。

地球で住み続けるために、CO<sub>2</sub>排出量を2050年までにゼロにする必要がある。（IPCC2018）

▼カーボンニュートラルのイメージ図（出典：資源エネルギー庁）



# 4. ネイチャーポジティブの実現に向けて

## ネイチャーポジティブ計画の骨子案

当社は、地域の皆様や石狩市、専門家と協力しながら、「みんなで、考える・つくる・育てる」取り組みを通じて、石狩市の目指すまちの姿と環境像の実現に貢献して参ります。

### ■ ネイチャーポジティブ計画の骨子案



石狩市の目指すまちの姿と環境像の実現に貢献する

環境像：地域の豊かな資源を活かし 未来へつなぐ 持続可能な共生都市 いしかり

# 具体的な取組みについて

【事例】 みんなで、考える / 厚田学園授業

オフサイト活動

テーマ

厚田の自然について考える  
～カーボンニュートラルとネイチャーポジティブ～



当社は、厚田学園の中学生を対象に、環境学習の授業を行いました。授業では、カーボンニュートラルとネイチャーポジティブの両面で議論し、「厚田の自然」について考えました。

参加した学生の声



“機会があればもっと学びたい”



“地球温暖化を止めることで、動物たちも健康に暮らせる”

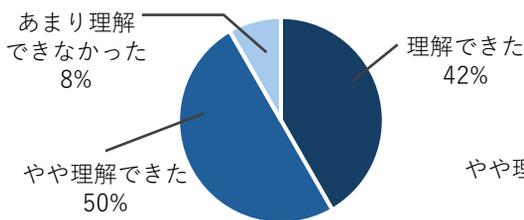


“どちらか一方ではなく、よりよい未来につながる活動を行いたいし、行ってほしい”

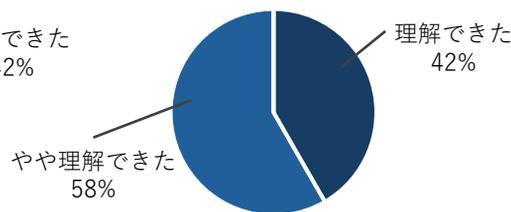
Q1. 今後も、今回のような授業を  
行ってほしいですか？



Q2. カーボンニュートラルについて理解できましたか？



Q3. ネイチャーポジティブについて理解できましたか？

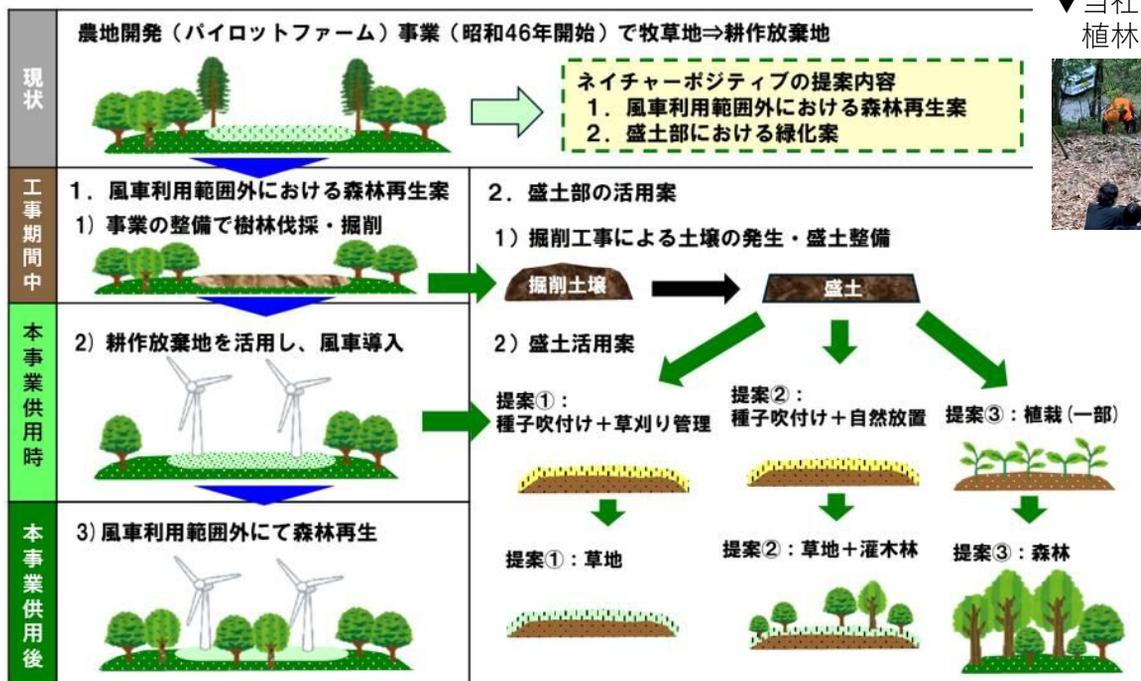


【取組み案】 みんなで、育てる / 森林再生の取組み

オンサイト活動

既に伐開されている本事業地において、地域の皆様とともに森林再生の取組みを計画して参ります。（当社は石狩市森林組合に加入済み）

▼当社 他地域での植林活動





ふみさん

ふどうさん

環境に、  
全力TOKYU  
FUDOSAN。